

# 議会だより たのはた

No.  
**127**  
2021.5.14  
岩手県田野畑村議会



## 3 月定例会

- 第3回定例会議案を紹介 2ページ～
- ここが聞きたい！一般質問 4ページ～
- 3月定例会で決まったこと 7ページ～

七滝地区の佐藤源一郎さん夫婦。いろいろな野菜を作っています。今は、白菜、キャベツ、レタスなどで大忙しです。



工藤 求  
予算特別委員会 委員長



佐々木 功夫  
予算特別委員会 副委員長

# 再提出した当初予算案など可決

第3回定例会が、3月5日から3月17日までの会期で開かれました。村長提案の30議案のうち、令和3年度一般会計予算は、撤回、再提出され可決しました。追加で議案1件、人事案2件、発議案1件を可決しました。令和3年度予算など関連議案は、予算特別委員会を設置し、集中審査しました。一般質問は5人の議員が登壇し、村の姿勢を質問しました。

## 令和3年度の予算規模（全会計） 【単位：万円】

会計名	令和3年度	伸び率 (前年度比)	
一般会計	35億5,444	△37.5%	
特別会計	国民健康 事業勘定	6億1,086	△3.9%
	保険会計 直診勘定	1億1,959	△6.0%
	簡易水道会計	1億9,685	32.1%
	集落排水会計	5,624	△44.0%
	下水道会計	3,311	△19.1%
	介護保険 事業勘定	5億2,609	4.5%
	会 計 サービス勘定	1,160	5.4%
	後期高齢者医療会計	4,094	5.7%
	合 計	51億4,971	△29.4%

**条例**  
田代・千足簡易給水施設が村に移管されることに伴い、所要の改正をするもの  
●令和3年度一般会計予算  
3月定例会にて提出された当初予算は、撤回、再提出され可決しました。当初の提案より撤回されたものは、左記のとおり。  
・派遣職員人件費等負担金（1名分）：900万円  
・小型マイクバス購入経費（1台分）：511万5千円  
・住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合会費：1万円

## 議案 Pick up

こんなことが決まりました



### 令和3年度一般会計予算 (村営住宅・定住促進住宅)

●村営住宅整備事業  
令和3年度中の完成予定とし、菅窪に2棟を整備するための予算を措置するものです。  
・事業費：6557万円

●定住促進住宅整備事業  
令和3年度中の完成予定とし、菅窪に1棟を整備するための予算を措置するものです。  
・事業費：3563万2千円



村営住宅の完成イメージ



### 令和3年度一般会計予算 (田代地区消防屯所)

村消防団（上村繁幸団長）3分団で、現在使用している田代屯所が老朽化しており、また、耐震化を図るため、整備するための予算を措置するものです。  
・設計委託料・用地測量調査委託料：217万8千円  
・耐震化整備工事：1920万6千円  
・手数料：3万2千円



新しく整備を待つ田代屯所

### 議決した主な議案など

- 放射性廃棄物の持込み拒否に関する条例  
放射性廃棄物などを原因とする放射線による障害から村民の生命と財産を守るため、制定するもの  
●令和2年度一般会計補正予算（第14号）  
1億4949万2千円を追加し、総額を75億2711万1千円とするもの。主な内容は次のとおり。  
・地域の加工場整備工事：3500万円  
・農村環境改善センター・浜岩泉農業会館屋根など改修工事：1265万円  
●令和2年度国民健康保険特別会計補正予算（第5号）  
事業勘定444万7千円を減額し、総額を6億3598万4千円とするもの  
直営診療施設勘定901万2千円を減額し、総額を1億2101万円とするもの  
●令和2年度簡易水道特別会計補正予算（第2号）  
3482万2千円を減額し、総額を1億1422万5千円とするもの  
●令和2年度集落排水特別会計補正予算（第2号）  
2744万8千円を減額し、総額を7296万2千円とするもの  
●令和2年度下水道特別会計補正予算（第2号）  
1199万5千円を減額し、総額を2895万円とするもの  
●令和2年度介護保険特別会計補正予算（第3号）  
事業勘定149万7千円を減額し、総額を5億3235万8千円とするもの  
サービス事業勘定20万円を減額し、総額を1080万5千円とするもの  
●令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）  
100万円を追加し、総額を4012万9千円とするもの  
●田野畑村製氷貯水施設及び田野畑村魚市場の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて  
管理者に田野畑村漁業協同組合を指定するもの  
●令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）  
100万円を追加し、総額を4012万9千円とするもの  
●田野畑村製氷貯水施設及び田野畑村魚市場の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて  
管理者に田野畑村漁業協同組合を指定するもの  
●田野畑村堆肥処理施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて  
管理者に（一社）田野畑村産業開発公社を指定するもの  
●机浜番屋群施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて  
管理者にNPO法人体験村・たのはたネットワークを指定するもの  
●田野畑村高齢者グループホーム、田野畑村デイサービスセンター及び田野畑村訪問介護ステーションの指定管理者の指定に関し議決を求めることについて  
管理者に（福）寿生会を指定するもの  
●田野畑村農林水産体験交流施設及び道の駅たのはたの指定管理者の指定に関し議決を求めることについて  
管理者に（一社）思惟の風を指定するもの  
●田野畑村介護保険条例の一部を改正する条例  
介護保険法の規定に基づき、介護保険事業計画の見直しに伴い、令和3年度から令和5年度までの保険料率について定めるもの  
●田代・千足簡易給水施設設置等に関する条例の一部を改正する

新年度予算の重点は

村長 --- 村道の改良舗装に関する事業など



上山 明美議員

【問】新年度予算について伺う。①何に重点をおいた予算編成か。②見直した「行財政改革大綱」、「行財政改革プラン」の新年度予算への反映は。

【村長】①ハード事業は、総合計画に掲げた「村道の改良舗装などに関する事業」や、「村営住宅、定住促進住宅の整備に関する事業」などを重点的に計上している。ソフト事業は、「新型コロナウイルスワクチン予防接種対策事業」や、国の地方創生推進交付金を受けて実施する「道の駅たのはたを軸とした地域しごとづくり事業」などを重点的に計上している。

②今年度末に策定する予定だが、令和2年10月に全職員を対象とした勉強会を実施。今後の厳しい財政状況の意識を共有したうえで、令和3年度当初予算編成作業を行い、歳出の削減に努めた。

地方債発行を伴うハード事業は、地方債残高を計画的に削減すべく、実施年度の調整などを行い、新年度予算に反映した。

【問】児童生徒の震災・防災教育は。

【教育長】小・中学校の学校経営計画で、それぞれ「復興教育」を盛り込んでいる。令和2年度は、小学校の依頼に応じ、防災教育として、備蓄倉庫の見学、村職員数名による震災の経験、防災の在り方などの授業を行った。

村としては、関係部署が連携し、学校、家庭、地域が連携した防災教育、復興教育を推進したい。

施設の解体方針は

村長 --- 原則 建築後 60 年経過から順次解体



佐々木 芳利議員

【問】役割を終えた施設（旧沼袋保育所、寄宿舎、給食センターなど）の解体など、対処方針、見直しを。①赤字決算の経営責任。②理事会の傍聴拒否、不透明な議事録作成などの改善策。

【村長】令和元年に田野畑村公共施設等整備方針を策定し、整備方針を建物ごとに定めている。役割を終えた施設は、原則、建築後60年を経過したのから、順次解体する方針。寄宿舎と沼袋保育所は、当面は倉庫として使用し、それぞれ令和10年度、令和15年度以降に検討。寄宿舎については、利活用の可能性も検討に加えない。また、旧給食センターは、当面は埋蔵文化財の作業場として使用し、令和20年度以降に検討する。解体の実施時期は、財政状況などを勘案し検討したい。

【問】産業開発公社について伺う。①赤字決算の経営責任。②理事会の傍聴拒否、不透明な議事録作成などの改善策。

【村長】①赤字体質の本質はどこかを正すことが最大の経営責任。平成20年度の公社への3千万円の貸し付けも引き継いだ責任として、過去の経営責任も含まれると解する。赤字体質を放置せず痛みを伴っても改革を進める責任と、赤字体質を改善しないまま公的資金導入などの処理を比較した場合、経営改善の意味合いが異なる点を考えてほしい。

②議会に各事業の事業報告および決算書類を法令にのっとり報告している。傍聴を求める法的な根拠があるならば、ご教示いただいたうえで、答弁したい。

議事録の作成は、形態の在り方まで、議会でご議論いただくまでではないと思う。

※ 3月17日、村長より佐々木芳利議員の一般質問に対する答弁の訂正がありました。  
 「(公社の理事会の)傍聴を求める法的な根拠があるならば、ご教示いただいたうえで、ご答弁したいと思っております」などの、末節部分の回答に対し、疑心あるとの申出を受けました。3月定例会の審議経過の中で、平成26年度総務省が出された第三セクターなどの経営健全化等に関する指針を参考にし、村の第三セクターの指導を行うべきとの提言をいただき感謝申し上げます。このような提言などをいただき、補いながら答弁したいとの思いで答弁したものであり、真意が伝わらなかったことに対し、おわび申し上げます。また、議事録の作成形態などについては、ご提言などを参考にし、理事会などで議論を深めていく事をもって回答とし、併せて真意の伝わらなかったことに対し、おわび申し上げます。

人事案件に同意

● 人権擁護委員

島山とし子氏と奥地愛子氏の2人の推薦に同意。任期は、令和3年7月1日から3年間で

討論

賛成

上村浩司議員

厳しい財政状況の中、新年度予算に、緊急かつ重要な、新型コロナウイルス感染症対策、災害からの復旧と備えが計上。また、必要な対策に目を配り経費削減に取り組むなど、村民生活を第一に考えた予算である。

賛成

上山明美議員

新年度予算は、(一般財源ベースで)対前年度比7%削減を目標としたが、2・3%減となった。これは、一律に経費削減ではなく、田代地区の小規模給水施設の維持管理費や若桐保育園の運営費など、村民生活に直結する経費を確保した結果であり、厳しい財政を考慮し、村民の暮らしを考えたものである。

ここが聞きたい！ 一般質問

次のページは

質問者	質問項目
上山 明美	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆新年度予算 (①予算編成の重点②行財政改革大綱、行財政改革プランの新年度予算への反映)</li> <li>◆児童生徒の震災・防災教育 (その他の質問)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・新道の駅の運営体制と従業員の募集状況</li> <li>・中学校の部活動への考えと管内の状況</li> </ul> </li> </ul>
佐々木 芳利	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆役割を終えた施設の解体、対処方針、見直し</li> <li>◆産業開発公社 (①赤字決算の経営責任②理事会の傍聴拒否、不透明な議事録作成などの改善策) (その他の質問)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の財政状況の見直し</li> </ul> </li> </ul>
小松山 久男	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆新道の駅の管理運営</li> <li>◆産業開発公社が一般社団法人として経営改革が困難な理由 (その他の質問)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業開発公社 (経営改善と経営者の責任)</li> </ul> </li> </ul>
中村 勝明	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆役場の人事機構</li> <li>◆陸中たのはた (①経営状況②宿泊割などの支援措置) (その他の質問)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・村と寿生会について、公の施設に係る指定管理者の指定の手続 (①協定を締結していない理由②社会福祉法人寿生会の定款と会計)</li> <li>・学校給食費 (①今後の考え②学生への支援、給付型奨学金制度) ほか 3件</li> </ul> </li> </ul>
上村 浩司	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆災害への備えについて、実施済みおよび実施予定の施策</li> <li>◆SDGs (持続可能な開発目標) の達成に向けた取り組み (その他の質問)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の復興状況</li> <li>・村の就農者数と耕作放棄地の増加率、農協との連携 ほか 2件</li> </ul> </li> </ul>

(一般質問のうち、各議員2項目を抜粋し掲載しております。)

### 3月定例会で決まったこと

議案等番号	議案名等	審議結果
議案第1号	放射性廃棄物等の持ち込み拒否に関する条例	可決
議案第2号	田野畑村東日本大震災復興交付金基金条例を廃止する条例	可決
議案第3号	令和2年度田野畑村一般会計補正予算（第14号）	可決
議案第4号	令和2年度田野畑村国民健康保険特別会計補正予算（第5号）	可決
議案第5号	令和2年度田野畑村簡易水道特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第6号	令和2年度田野畑村集落排水特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第7号	令和2年度田野畑村下水道特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第8号	令和2年度田野畑村介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第9号	令和2年度田野畑村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第10号	田野畑村製氷貯水施設及び田野畑村魚市場の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	可決
議案第11号	田野畑村堆肥処理施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	可決
議案第12号	机浜番屋群施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	可決
議案第13号	田野畑村高齢者グループホーム、田野畑村デイサービスセンター及び田野畑村訪問介護ステーションの指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	可決
議案第14号	田野畑村観光船発着施設及び田野畑村観光交流物産施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	可決
議案第15号	田野畑村農林水産体験交流施設及び道の駅たのはたの指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	可決
議案第16号	田野畑村介護保険条例の一部を改正する条例	可決
議案第17号	田野畑村指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	可決
議案第18号	田野畑村指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	可決
議案第19号	田野畑村指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	可決
議案第20号	田野畑村指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	可決
議案第21号	田代・千足簡易給水施設設置等に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第22号	田野畑村総合計画基本構想の計画期間延長に関し議決を求めることについて	可決
議案第24号	令和3年度田野畑村国民健康保険特別会計予算	可決
議案第25号	令和3年度田野畑村簡易水道特別会計予算	可決
議案第26号	令和3年度田野畑村集落排水特別会計予算	可決
議案第27号	令和3年度田野畑村下水道特別会計予算	可決
議案第28号	令和3年度田野畑村介護保険特別会計予算	可決
議案第29号	令和3年度田野畑村後期高齢者医療特別会計予算	可決
議案第30号	令和3年度田野畑村一般会計予算	可決
議案第31号	財産の貸付けに関し議決を求めることについて	可決
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて	同意
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて	同意
発議案第1号	令和3年度各種会議、研修会への議員派遣について	可決



小松山 久男議員

### 新道の駅の管理運営は

村長 --- (一社) 思惟の風を設立し準備進める

【問】新道の駅の管理運営主体の決定前に、広報2月号で従業員の募集をした説明を求める。

【村長】運営会社を、今年1月6日に「一般社団法人思惟の風」として設立登記を終え、現在、運営の準備を進めている。

【問】産業開発公社について、一般社団法人の法人形態では、経営改革が困難であるというのであれば、どこにその問題があるか。

【村長】全国の第三セクターの経営は、全体の約4割強が自治体から補助金が拠出され、約6割が自治体からの委託事業で維持されている現状とされている。

専門家の指摘によれば、行政の支出によって黒字化しているだけであるとの厳しい指摘がある。

この指摘のとおり、全国的な第三セクターの傾向と体質が重なる部分が多い当該産業開発公社の経営体質の改善は、必定なことは明白である。



中村 勝明議員

### 役場の人事機構の考えは

村長 --- 組織の体制は変えず新年度に臨む

【問】役場の人事機構の考えは。

【村長】現段階で、新年度当初の職員数は、正職員54人、任期付職員10人、再任用1人の計65人の見込み。今年度より職員数が2名減という非常に厳しい状況。このまま組織体制は変えないで、新年度に臨む考えである。

【問】陸中たのはたについて伺う。

①最近の経営状況。②宿泊割などの支援措置。

【村長】①2月末現在の今年度の利用者数は2万8千人ほど（前年度比42%ほどの減少）。売り上げは総額2億5千万円余り（前年度比34%ほどの減収）。

②新型コロナウイルス感染症拡大の影響による経済対策支援として、村内の宿泊業者で構成する田野畑村観光誘客対策協議会に対し、がんばる観光事業者応援事業費補助制度を創設し、村内の旅館業の支援を図った。

最終の決算見込み、着地予想だが、赤字はないものと見込んでいる。

### 災害への備え状況は

村長 --- 待望の水門・陸閘が平井賀に完成

【問】災害への備えについて、実施済みおよび実施予定の施策は。

【村長】津波対策は、県管理の島の沢水門に続き、待望の平井賀水門・陸閘が完成し、遠隔操作や運用方法を消防団に周知している。松前沢水門は、県水産部で工事を進めており、引き続き早期完成の要請をしている。

ソフト面では、地域防災計画の改訂と災害対応工程管理BOSSシステムの導入を、2月18日の防災会議で関係機関の方々に承認していただいた。

地域リーダーとなる防災士を、全地区に配置できるよう資格取得支援を進めたい。

【問】SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取り組みは。

【村長】SDGsの17の目標のひとつである「住み続けられるまちづくり」は、むらづくりの重要な目標と一致。次期総合計画の策定で、SDGsの目標と、村の各分野の施策を関連付けて計画をまとめ、取り組みにつなげたい。



上村 浩司議員

# 宮古水産高校存続を県教委に要望

宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村の議会の正副議長で構成する宮古地区広域市町村議会連携会議(以下、連携会議)は、令和3年1月25日、岩手県教育委員会を訪れ、佐藤教育長あてに「岩手県立宮古水産高等学校の存続について」と題する要望書を提出しました。

要望書は、岩手県が策定した「新たな県立高等学校再編計画(後期計画案)」に対して、「岩手県立宮古水産高等学校の存続、養殖科の新設並びに校舎の新築」を訴えるものです。平成28年に策定された同計画案には、宮古水産高等学校を宮古商工高校と統合し、総合的な専門学校として再編する方針が示されていましたが、連携会議では水産振興を重視する立場から、同校の単独存続を共通の課題として位置づけ、情報収集や意見交換を行ってきました。

要望書提出後の2月1日に県教委が公表した同計画の最終案によると、宮古ブロックにおける専門高校の整備については、「宮古商工高校と宮古水産高校をそれぞれ単独で維持」し「同一校地内における両校の新校舎や施設設備等の一体的な整備」を行う方針へと修正されており、要望書の内容が一部実現した形となりました。一方、養殖科の新設は最終案に盛り込まれておらず、連携会議では今後も教育環境の充実や水産業の振興のため、県立高校を巡る動向を注視していくとのことです。



宮古水産高校の校舎全景



岩手県教育委員会 佐藤教育長に要望

## ※宮古地区広域市町村議会連携会議とは

宮古市、山田町、岩泉町及び田野畑村の正副議長で構成する会議

会長：古館宮古市議会議長 副会長：昆山田町議会議長

監事：加藤岩泉町議会議長 監事：鈴木田野畑村議会議長

議会を傍聴  
しませんか

次の定例会は、  
6月中旬に  
開会予定です。

編集  
後記

3月定例予算議会が、17日に無事終了しました。5日の村長施政方針演述に始まり、17日の最終本会議まで、実にさまざまな質疑が交わされました。

総額3億6800万円の一般会計予算のうち、総務管理費・派遣職員人件費等負担金・富士ソフトIT職員900万円、役員費・手数料11万6千円を6万6千円に。自動車損害保険料5万3千円を減額し、さらに小型マイクロバスを500万円減額。17日の最終本会議で村長から減額の修正案が提出され、全議員賛成で可決されました。

新年度もスタートしたばかり。これからも村民の皆さまの生のご意見を宜しくお願い致します。

(広報公聴常任委員会)

委員 中村勝明)